

令和 7 年 7 月市長定例記者会見

日時：令和 7 年 7 月 2 日（水） 午後 1 時 3 0 分～

場所：射水市役所会議室 3 0 2

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、読売新聞、北陸中日新聞、射水 CATV

庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
環境課長、こども福祉課長

Q 1. 「ゼロカーボンシティいみず応援隊長」の雷鳥が出席予定のイベントはあるのか。

A 1. 直近では、7 月 6 日（日）に開催する海岸清掃活動「みんなできれいにせんまいけ大作戦」、9 月下旬の「射水市環境とくらしフェア」での P R 活動が予定されている。そのほか、様々な機会を通じて応援隊長として活躍いただきたい。

Q 2. なぜ雷鳥が応援隊長に委嘱されたのか。

A 2. 本市では、「ゼロカーボンシティいみず推進事業」として様々な取組をしているが、市民へ活動を周知し、身近に感じてもらいながら取り組んでいただきたいと考えている。そのため、市民の皆さんからの知名度があり、メッセージ性を効果的に伝えられる方として適任だと思い、雷鳥のお 2 人を起用させていただいた。

Q 3. 「ゼロカーボンシティいみず」のロゴマークは決まったか。

A 3. 未決定である。

Q 4. 内川朝市を実施することとなった経緯を教えてください。

A 4. 内川未来戦略会議の議論の中で、地域の賑わいを創出し、地域内で活躍するプレイヤーを積極的に発掘する取組の一環として、朝市の定期開催を計画している。今年度は試験的な開催を行い、次年度以降の定期開催に

繋げることを目指している。今年度は、今回の開催後に数回程度の試験的な開催を予定している。

Q 5. 開催頻度や時間の予定は？

A 5. 今年度は毎月ではなく、不定期開催で、季節ごとの実施になる可能性があり、数回程度の実施を予定している。その中で、課題の整理や協力者のネットワーク構築、効果的な開催方法の検討を行う。次年度以降は毎月の定期開催を目指している。旬の魚や野菜を販売予定とのことだが、時間等の詳細は調整中であり、改めて案内する。

Q 6. 主催者は誰か。また、市はどのように関わるのか。

A 6. 内川未来戦略会議の委員でもある新湊観光船の木村さん、ワールドリー・デザインの明石さんが中心となり、様々な関係者と連携を図りながら、準備を進めていただいている。民間の皆さんに実施していただくものであり、市は連携協力という立場で、補助金を出す予定はない。許認可については、必要な場合に行うこととなる。

Q 7. 6月定例会で、議員定数が2減となったことについての受け止めに教えていただきたい。

A 7. 議員定数の見直しに関する議論については、これまで議会において議会改革特別委員会を設置し、長期間にわたり検討が行われてきた。また、その過程で地域振興会や地域住民との意見交換も実施されてきた。こうした議論を重ねた結果、今回の議会で結論が出されたと認識している。

これまで議会とは連携し、議員の指導や協力を得ながら市政の進展・市民の幸せ実現を共に取り組んできた。議員定数の見直しにより、改選後の議会活動などがどのような効果をもたらすかは現時点では分からないが、今後も議会と連携し、力を合わせながら市民の幸せと市政の進展に繋げていきたいと考えている。